学園記念ホール
ステンドグラス

Information From Nichi-On since 1903

―創立101周年―

The Campus News

― キャンパス ニュース ―　日本音楽学校 幼児教育科 ・ 学生向情報

１月号
2004　第95号
編集発行　学園事務局

A HAPPY NEW 2004 !

明けましておめでとうございます

学校長　小林志郎

新しい年を迎え、新しい思いを胸に抱いて元気にやっていますか。

日本音楽学校も元気にやっていくために工夫をしなければなりません。新年にあたり、四つのことを書きます。

第一は昨年の保育研究発表会のことです。大変素晴らしい内容と表現スキルに多くの方が高い評価を与えてくれました。みなさんのプレゼンテーションを見てくださった高名な研究者や教育者の方から、日本音楽学校の保育研究発表会を全国の幼児の表現教育の研究者に紹介したい と嬉しいお褒めのことばを頂戴しました。幼児教育者養成という観点からも、保育者を目指す学生諸君のアクティビティの質の良さからも多くの教育者が注目すべきプレゼンテーションであったと褒めてくれました。

第二は、パンフレットに書きましたが、授業の内容・方法等に関わる発表や各種のプレゼンテーションが私たちを楽しませてくれたことです。発表のジャンルが十分な広がりを持っていたこと、特に授業内で取り上げたテーマを整理したディスプレイは意欲的であり、今後の発展を感じさせてくれました。

保育研究発表会の歴史はもっと限定された目的で出発したと言われています。しかしこの２，３年の目的・内容・方法の改変から作品の質的向上が顕著になりました。

保育研究発表会の枠をゆるめ、いろいろな学習や研究の成果を発表する会へ発展させようとすると、舞台発表でなく教室内の発表の方が似合うものがあります。今年の中ホールや教室での発表は典型的な作品だったと言えましょう。私は声を大にして新しいムーブメントを評価したいと思います。

確かに準備が不足している発表、内容に偏りが見られる発表、手法に工夫が欠ける発表などもありました。しかし新しい挑戦が、アカデミックな挑戦がこれほど健全にスタートしたことは誇りに思って結構です。恐らく厳しい評価をする人もでてくるでしょう。素直に受け止めこれからの挑戦への糧としようではありませんか。いつもお話しするように、子どもの頃の川は深く、山は高いものです。もっと大人になってみれば諸君の今の実力を冷静に振り返ることが出来るでしょう。川はそんなに深くなく、山は高くなかったことに思い当たるでしょう。でも川へ入り、山へ登った実績は立派といわなければなりません。

第三に、昨年の年頭にアナウンスした「保育士コースの通年実習」「ＴＡの全校導入」「実習総合センターの開設」などもまずまずの滑り出しでした。附属の幼稚園や保育園の積極的な協力で学生の園での活動の機会が増加しました。子どもたちと直に触れ合うことは最高の学習形態です。園の教育的配慮と学生諸君の熱意が今年も見事にかみ合うことを願ってやみません。

第四は、日本音楽学校の強い点をさらに強くし、弱い点を補強する計画を練っています。

まず強い点、強くなければならない点であるピアノの授業の重点化です。来年度の新入生からレッスン時間を増やし、ピアノのグレードの質的な向上をはかり、ひいては学生の実力をレベル･アップしたいと考えています。

弱い点の補強は国語、社会、英語などの基礎学力の補強です。来年度はまず国語から補習授業を開始しようと考えています。週に１時間、徹底したスキル学習を行うのはどうでしょうか。いわゆる漢字などは中学受験まで立ち戻って遊びのつもりでおさらいします。落語「寿限無（じゅげむ）寿限無、五劫のすり切れ、海砂利水魚の水行松、雲行末、風来末、食う寝る所に住む所、やぶら小路ぶら小路、パイポパイポ、パイポのシューリンガン（後略）」を覚えてみる。また歌舞伎の「外郎売」の台詞をスピーチと前頭葉の開発のために挑戦してみる。「この薬、第一の奇妙には、舌の回ることが銭ゴマがはだしで逃げる。ひょっと舌が回りだすと、矢も盾もたまらぬじゃ。そりゃそりゃ、そらそりゃ、まわってきたわ、まわってくるわ。（中略）あかさたなはまやらわ、おこそとのほもよろを、一つへぎへぎに、へぎほしはじかみ、盆まめ、盆米、盆ごぼう、摘みたで、摘み豆、つみ山椒、書写山の社僧正、粉米のなまがみ、粉米のなまがみ、こん粉米の小生がみ、繻子ひじゅす、繻子、繻珍、親も嘉兵衛、子も嘉兵衛、親かへい、子かへい、子かへい親かへい(後略)」。この位の量でいいでしょう。

黙読して、意味を把握する力はかなりあると認めた上で、声に出して読むことによって、文章の構成、段落などを無意識のうちに把握し、漢字を脳のスクリーンに焼付け（タスマニア州教育庁の教育白書ではスペリングとなっている）、対話能力やコミュニケーション感覚を高めようという遠大な計画です。

実行までにはしばらく時間をください。今は正月です。夢のようなお話も偶にはいいでしょう。しかしみなさん、真剣に夢を語っていることを覚えておいてください。

♪♪　１月～３月の行事予定　♪♪

幼児教育科(保育士コース／保育士・幼稚園教員コース)

１年

１月７日(水)　冬期休業後授業再開
12日(月)　成人の日(休校)
16日(金)　教養講座「就職セミナー」
21日(水)　２月実習ｵﾘｴﾝﾃｰｼｮﾝ（保幼）
30日(金)　教養講座「保育専門職の意義」
永井先生　大ホール　14:30～16:00

２月４日(水)～10日(火)　後期試験
10日(火)　後期休業前授業終了
11日(水)　建国記念の日(休校)
12日(木)～18日(水)　追・再試期間
19日(木)～25日(水)　幼稚園実習（保幼）
27日(金)～3月9日(火)　保育園実習（保幼）

３月13日(土)～19日(金)　オーストラリア研修旅行

２年

１月７日(水)　冬期休業後授業再開
12日(月)　成人の日(休校)
30日(金)　教養講座「保育専門職の意義」
永井先生　大ホール　14:30～16:00

２月４日(水)～10日(火)　後期試験
10日(火)　後期休業前授業終了
11日(水)　建国記念の日(休校)
12日(木)～18日(水)　追・再試期間

３月３日(水)　卒業式リハーサル　記念大ホール
４日(木)　卒業式　10:00AM　記念大ホール

行事予定は「追加・変更」になることがありますので、校内掲示等に注意して下さい。

平成15年度　保育研究発表会を終えて

専任　桜井　剛

12月19日(金)、20日(土)の両日、平成15年度保育研究発表会が開催され、一般の方や園児という多くの来場者でにぎわい、盛況の内に終えることができました。これも父兄の皆様や附属幼稚園・保育園をはじめとする各園の協力なしには、成しえなかったでしょう。また学生主体の運営がなされ、ＳＰＴや各委員の縁の下の力持ちとしての学生による功績は大きく、さらに学生の鑑賞の態度も、保育研究発表会を盛り上げる要因となったのでしょう。

開催までの準備を思い起こせば、この日のために休日も登校し、連日遅くまで学校に残って一生懸命に練習や準備を行う学生の姿が見られました。この日々があったからこそ、練習の成果を余すところなく発揮できたのだと思います。

今年度の保育研究発表会の大きな変化としては、趣向を凝らした展示発表の開催がありました。教科の展示では、触って楽しめる体験型の展示や、授業成果のプレゼンテーションなど、各教科で取り組んだ学習の成果が発揮されていました。また多くの鑑賞者を集めたサークルの展示発表は、サークル活動に対する興味・関心へとつながったはずです。

保育研究発表会の目的は、すばらしい発表をつくり上げるとともに、その過程を通して学ぶことにあります。発表をつくり上げるまでには学生同士のぶつかり合いなど、様々な困難が生じてくるものですが、それらを乗り越えた末に発表が出来上がり、達成感を味わうことができるのです。また保育研究発表会で培った音楽や踊りの楽しさを味わうといった経験は、今後の学校生活に生かすことができるでしょうし、保育者となってからも生きるものと確信しています。

日音　オーストラリア研修旅行

３月13日(土)～19日(金)、メルボルンとシドニーの２つの都市を廻り、カレッジや幼稚園を訪問します。現地学生や園児との交流や会食、また、ボンタイビーチ、オペラハウス、ブロックロイヤルアーケードなどの観光スポットも訪れます。

参加予定学生（12月現在）
保　１　Ａ：大桃真理子・加藤彩香・杉沢直美
鈴木晶子・関　彩香・中野雄史
保幼１Ａ：縣　聡史・石嵜由利子・猪瀬雄司
織畑　真(奨学生)・柏又由美子
加藤　歩・金子秀光・川口大輔
川端ゆうき・小泉奈々・小林顕子
小林早紀・近藤はるか・東海林良太
関　智之
保幼１Ｂ：野澤恭子・羽田正子・林　允裕
堀口真鈴・山下和恵・米内千春
渡部佑里
教　　員：小林学校長・三小田美稲子
穐田みづほ・山本直樹

「事務評価」についての報告　事務局長　磯　是詔

学生の皆さんにはホームルームの貴重な時間をさいて、事務局評価をしていただき誠にありがとうございました。

事務局の本来の仕事は学生にとって勉強しやすい環境を作ることであり、また、学生生活が楽しく送れるよう支援することですが、今回の皆様からいただいた評価結果を見ますと問題点があることがわかりました。

今後事務改革を進めていく上で皆様からの貴重なご意見やご要望を真摯に受け止め、出来るところから実行に移していく予定です。

皆様から愛される事務局をめざしがんばって取り組んでいきますので、今後とも事務局に対し気がついたこと、感じたことなどありましたら遠慮なく忌憚のないご意見をお聞かせください。なお、今回特に強かった要望はトイレの改修、ロッカーの設置、施設の利用時間の延長、温かみのある事務局対応等でしたが、施設面に関しては、今後の検討課題とさせていただき、その他の点については早急に改善・検討いたします。